

# 各プロシージャの機能説明

2013年6月7日  
22:24

## ①**main** ' 前方から抽出

Q X エディタで編集している文書から、カーソル位置にある符号あるいはカーソル位置の直前の符号を抽出し、この符号よりも前方の文書から、同一符号が付せられた名称を抽出して、カーソル位置の符号の前に挿入する。

スペースキーを押すと、次の候補を順次挿入する。候補がなくなるとブリンクする。シフトキーを押した状態でスペースキーを押すと元の候補に順次戻る。

リターンキーを押すと候補が決定されて終了する。マウスをクリックしても同じ。deleteキーやBackspaceキーを押すと候補を削除して終了する。

出現する小窓には、対象符号、候補数、及び表示されている候補の順番が表示される。

抽出名称が皆無の場合には符号自体をブリンクする。

選択状態で実行すると選択した文字列を無条件に符号として扱って上述したごとく名称を抽出して符号の前に挿入する。ただし選択部分を強制的に符号と見なしていることにより、エラーはしていないが、一見して思うように抽出していないように見える場合がある。（よく考えれば正しく処理していることが分かるが）

## ②**mainRear** ' 後方から抽出

符号よりも後方の文書から抽出する。他は①と同じ。

## ③**mainAll** ' 全体から抽出（自身も抽出）

文書全体から抽出する。他は①と同じ。ただし、上記①②と異なり、カーソルが配置されている符号自身が付着している名称も抽出する。（この点が秀丸用、Word用と異なる）

## ④**mainSetting** ' 符号抽出データセット

符号や名称抽出のための設定ダイアログが開く。ユーザーによるカスタマイズ用である。

## ⑤**mainAbout** ' システム側バージョン情報表示

「PUPN\_Lib.dll」のバージョン情報

## ⑥**KeyInAbout** ' キー処理側バージョン情報表示

「KeyModeLib.dll」のバージョン情報

## ⑦**WrapperAbout** ' ラッパー用DLLバージョン情報表示

「Pupn\_Lib\_Wrapper.dll」のバージョン情報

—————以上 (K. Kurono 2013/06/08) —————